

平野中だより

＜学校教育目標＞ ともに学び 挑み 夢を語る生徒

【合言葉】～ かがやきサイクルで Let's try! ～

蓮田市立平野中学校 TEL 048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393

令和7年4月8日



「ともに学び 挑み 夢を語る生徒」

～ かがやきサイクルで Let's try! ～

校長

今年も、本校の正門まで続く美しい桜並木が、期待と不安の入り混じる新入生や進級した生徒たちを温かく迎えてくれました。令和7年度は、新入生32名を迎え、全校生徒84名で清々しいスタートを切りました。

今年度も、今を生きる目の前の生徒を大事にし、平野らしさを強みとした、生徒が学びたくなる、教職員が勤めたくなる、家庭・地域から愛され信頼される学校づくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育目標は、「ともに学び 挑み 夢を語る生徒」です。合言葉は、「かがやきサイクルで Let's try!」といたしました。生徒、教師、家庭・地域で「ともに」学び、様々なことに挑戦し続け、主役である生徒が夢を語れるようになってほしいという願いが込められています。

どうぞ、本校の教育活動に御理解と御協力をいただけますよう、お願いいたします。

＜学校教育目標＞ 「ともに学び 挑み 夢を語る生徒」

合言葉 ～ かがやきサイクルで Let's try! ～

＜めざす学校像＞

「夢を語り合える 笑顔・活力・思いやりのあふれる学校」

○未来を見据え 夢や目標に向かって挑戦し続けられる学校

○仲間を大切に し 楽しく学び合い 高め合える学校

＜めざす生徒像＞ 「自ら学び 考え 主体的に行動できる生徒」

○問題に気づき 自分たちで修正・修復・解決できる生徒

○思いやりの心を持ち 心身ともにたくましい生徒

＜学校経営の基本理念＞

○学校は 生徒・教師ともに楽しく学び合い 高め合う場である

○学校は 未来を創る 子どものためにある

○学校は 地域立であり 信頼から成り立つところである

◇平野中学校の特色 「かがやきサイクル」

本校の特色でもある「かがやきサイクル」は、[準備 → 本番 → 振り返り → 改善] をすべての教育活動において取り組むことで、生徒の可能性を開花させ、生徒の力を伸ばすルーティーンとなっています。学校教育目標の達成に欠かすことのできない実践でもあります。

令和7年度 第79回入学式 校長式辞より（一部抜粋）

学校で一番大きな目標、生徒も先生方も達成するために努力する目標は、学校教育目標です。本校では、「ともに学び 挑み 夢を語る生徒」と掲げています。

仲間とともに学ぶ中で、いろいろなことに挑戦し、夢を探したり、追いかけていたりしてほしいという願いが込められています。

そこで大切になるのが、具体的な目標を設定し、達成するための方策を考えて全力で取り組むことです。そしてその結果を振り返り、改善を加えて次のステップへ進む。この流れを、本校では「かがやきサイクル」と呼び、一人一人が輝くための活動の基盤にもなっています。学習面だけでなく、学校行事を含む様々な活動でこのサイクルに沿って取り組むことで、より良い結果につながると信じています。

また、今年度は、学校教育目標に添える合言葉を「かがやきサイクルで Let's try!」としました。

2・3年生には、これまでの「…レッツチャレンジ!」が馴染んでいると思います。昨年度までは、和製英語…つまり日本語として「チャレンジ」を使っていたのですが、英語として「Challenge」という動詞を使ったときには、「誰かに勝負を挑む」とか「人に対して抗議をする」という意味になってしまいます。それを、何か新しいことや目標に向かって挑戦するという意味をもつ「Try」に変えることで、みなさんが、これからますますグローバル化、国際化していく社会に出ていっても通用するようにと考えました。もちろん、これまでどおり、日本語として「チャレンジ」を使うことは全く問題ありませんが、合言葉としては「かがやきサイクルでLet's try!」となりますので、新入生も2・3年生も覚えておいてください。

これから様々なことに取り組んでいく中で、ぜひお願いしたいことは、主体性をもってほしいということです。似た言葉に自主性というものがありますが、意味が違います。決められたことや与えられたことでも、進んで行えば自主性ですが、主体性とは、自分の頭で考えて行動する力です。これからの社会に求められるのは、この主体性です。

古代ギリシャの哲学者ソクラテスの言葉に、「知は疑うことから始まる」というものがあります。この言葉は、真の知識や理解を得るためには、既存の知識や常識を鵜呑みにするのではなく、まず疑問をもつことが重要であるという考えを示しています。

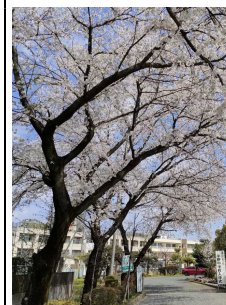
何かを学ぶ際、「本当にそうなのか?」「なぜそうなるのか?」と問いかけることで、より深く理解することができます。また、疑問をもつことは、さらなる探求や学習への動機づけとなります。

この言葉は、学問の世界だけでなく、日常生活においても重要な考え方です。何か新しい情報に触れたとき、安易に信じるのではなく、一度立ち止まって疑ってみることで、不確かな情報や誤った知識に気づき、より賢明な判断ができるようになるでしょう。

以上のことを鑑み、目指す生徒像の一文目を、「自ら学び 考え 主体的に行動できる生徒」としました。これまでの「問題に気づき 自分たちで修正・修復・解決できる生徒」も、大切なことなので残しましたが、まず主体性をもつことが、問題に気づき、解決させるためにも重要な要素であると考えました。

ぜひ、あらゆる場面で主体的に取り組める生徒になってください。そして、様々なことに挑戦する中で、自分の可能性を広げ、よさを伸ばしながら、夢を追いかけていってほしいと思います。

先生方も、一人一人が輝けるよう最大限の努力をします。不安や悩みなどがあれば、いつでも遠慮なく相談してください。一度きりの中学校生活です。ともに学び、高め合い、楽しく充実したものにしていきましょう!



○小中一貫教育とコミュニティスクール

本校は、平野小学校との小中一貫教育を推進しています。また、コミュニティスクールとして小中合同での学校運営協議会を設置しています。

学校運営の改善及び児童・生徒の健全育成に向けて協働する学校へと、より一層地域とともにある学校づくりを進めてまいります。

＜コミュニティスクール＞

学校運営協議会（学校と地域をつなぐ本部的な組織）を設置している学校